

岐阜市障害福祉計画・障害児福祉計画策定実態調査 報告書

令和8年3月

岐 阜 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	3
1	障がい者	3
1	1. 回答者属性等	3
2	2. 支援者	25
3	3. 生活支援サービス	32
4	4. 生活の現状とニーズ	123
5	5. 文化	136
6	6. 差別・理解への取り組み	141
7	7. 自由記述	150
2	障がい児	166
1	1. 回答者属性	166
2	2. 生活の現状とニーズ	181
3	3. 生活支援サービス	187
4	4. 生活満足度	206
5	5. 文化	208
6	6. 差別・理解への取り組み	212
7	7. 自由記述	220
III	考察	237
1	1 支援者が将来支援してもらえなくなった場合の対処方法	237
2	2 今後の生活の送り方	239
3	3 障がいの差別や偏見について	246
4	4 障がいについて理解や配慮があり、よかったと感じたこと	249
5	5 現在通っている学校などを卒業した後の進路	252
6	6 障害福祉サービスの満足度	253
7	7 現在の生活の満足度	257
8	8 総括	259
IV	調査票	260
1	1 障がい者	260
2	2 障がい児	276

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、福祉サービス利用者等の日常生活及び社会生活の実態、並びに福祉サービス等に対する意向等について調査し、令和8年度からの岐阜市障害福祉計画・障害児福祉計画を策定するための基礎資料とすることを目的としています。

2 調査対象

18歳以上は障害福祉サービス等受給者から、対象者を無作為に抽出

18歳未満は障がい児通所支援等の利用者から、対象者を無作為に抽出

3 調査期間

令和7年11月1日から11月21日まで

基準日 令和7年11月1日

4 調査方法

郵送により調査票を配布・回収

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
18歳以上の障がいのある人	2,000件	1,063件	53.2%
18歳未満の障がいのある人	1,000件	554件	55.4%
合計	3,000件	1,617件	53.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

・下表の左欄の用語等は、文中または図表中において右欄の略称を用いています。

用語等	略称
本調査で身体障害者手帳を所持していると回答した人	身体障がい
本調査で視覚障がいがあると回答した人	視覚障がい
本調査で聴覚・平衡機能障がいがあると回答した人	聴覚等障がい
本調査で音声・言語・そしゃく機能障がいがあると回答した人	言語等障がい
本調査で肢体不自由（主に手、主に足・腰）があると回答した人	肢体不自由
本調査で内部障がい（上記以外の身体障がい）があると回答した人	内部障がい
本調査で療育手帳を所持していると回答した人	知的障がい
本調査で精神障害者保健福祉手帳を所持していると回答した人	精神障がい
本調査で特定医療費（指定難病）受給者証を所持している、または難病（指定難病）の認定を受けていると回答した人	指定難病
本調査で小児慢性特定疾病医療受給者証を所持していると回答した人	小児慢性特定疾病
本調査で障がい者手帳等を所持していないと回答した人	手帳未所持
本調査で発達障害の診断を受けていると回答した人	発達障がい
本調査で高次脳機能障害の診断を受けていると回答した人	高次脳機能障がい
本調査で医療的ケアを受けていると回答した人	医療的ケア者・医療的ケア児
今回実施した本調査の結果	今回
令和4年度に実施した本調査の結果	前回
第5期岐阜県障がい者総合支援プラン策定等に向けた障がい者ニーズ調査報告書（令和7年12月）	県調査